

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	運営理念として、『個人の尊厳を大事にする』ことを職員間で共有している。理念に基づき、「尊厳」「その人の思い」に寄り添いサービス提供に努めている。重要事項説明書等に記載し、契約時に説明している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	食材買物等は入居者様が主体的に参加できるように声かけしている。日常的な外出支援も含めて、入居者様個々において実践している。墓参り・散髪など馴染みのある地域に職員と一緒に出向いている。また、職員がその地域の方々とコミュニケーションを通じ、同サービスについて情報提供をしている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	人材育成の一環として、実習生の受け入れ等を積極的に行っている。地域交流については、上記で述べたものが殆どであるが、現在、運営推進会議等においても、地域交流についての議論を継続している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期開催することで、左記の内容について報告させていただいている。当施設の議題はもちろんながら、市役所福祉課と家族・民生委員・地域代表との意見交換の場ともなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市・地域包括支援センターとの連携は、現在のところ運営推進会議での場のみとなっているが、この会議を活かしてケアの方向性について有意義な意見をいただいている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会において、マニュアルをもとに、実際のサービス提供場面で、どのようなことが虐待となるか職員間で共通理解をもてるよう取り組んでいる。やむをえず、身体拘束をさせて頂く場面についてはご家族を交えて十分な話し合いをもち適切に処理している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会においてマニュアルをもとに、どのような内容が虐待となるか共通理解をもつよう取り組んでいる。その上で、潜在しがちな虐待の防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者・一部の職員は、社会福祉士会が主催した権利擁護研修会に参加するなど学ぶ機会をもった。今後は、内部研修会で、権利擁護についての勉強会を開催したい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様とご家族に対し、文書・口頭で十分に説明し理解をいただいている。また、利用料金変更・文書改定時など、変更事項について明確に説明し、理解していただけるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様からの言葉・態度・表情などから、その思いに「気付く」よう努めている。その際は経過記録へ個々に記録し、会議等で使用しながら職員間で情報の共有化を図り、施設運営に反映させている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月職員会議を設けており、運営に関する提案をする機会を設けている。年間行事やその他問題がある場合についても職員の意見を十分に聞いて施設運営に努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個別ケアに徹するための手段として、職員の要望等を勘案してユニットケアの整備をした。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資質向上のため研修等へ積極的な参加、経費の負担をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流は、職員研修を通じて職員同士の取り組み方や質の向上などの勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居が決定される前より、面談を通じて本人様の思いを把握できるように努めている。また、環境が変わることへの配慮も含めて、利用日開始より安心して過ごして頂けるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービス開始前に、これまでご家族様が抱えてこられた悩みや不安、今後の希望等を聞く機会をとっている。また、サービス導入中も、様々な面でご協力をいただけるように、信頼関係の構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居相談があった場合、当サービスありきではなく、可能な限り、住み慣れた地域で住みつづけることが出来ないか、また居宅サービス・他社会資源で支援が出来ないかをサービス導入前にご家族様を含めて検討するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者様のペースを大切しながら日常生活は過ぎていく。その中で、入居者様の喜びや悲しみ、その時々的心情を知ることにも努め、暮らしの中で分かち合える関係作りをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	市内・県外在住のご家族様であっても、定期的に来鹿して下さるなど、ともに本人様を支えていく関係性にある。その多くの機会を利用して、日々の様子を経過記録表をお見せしながら報告し、支援の場で活かしている。また、個別担当者は施設でのご様子を定期的に文書にて発送している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居以前に利用していた美容院、かかりつけ医など、またご友人とのお付き合いなどが途切れないようにご家族様と共同で支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングでは、個別性も大切にしつつ楽しく過ごせるよう配慮している。また心身の状態や気分、感情の変化で周囲の方と上手く関わりが持てない場面では職員が調整役となっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス契約が終了した方に対しても、当時の写真をポスター紙等に印刷し職員のメッセージ付でお渡しするなどしている。本人様やご家族様とお会いした際状況をお聞きしたり必要時には、連絡させていただくこともある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様が思いや希望を表現できるような雰囲気を作るように努めている。又ご自分で意志表現できない方に対しては、ご家族から情報をいただき出来る限り本人の思いに近づけるように職員間で話し合いを持ち対応している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時ご家族や担当ケアマネから本人のこれまでの生活の様子等情報をいただきこれまでどのように生活されていたのかを把握しこれからのケアに活かせるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の個別記録（日常の生活の様子を含む）、バイタル、食事・水分摂取量等の記録を記載し職員間で情報を共有し毎日のミーティングを行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中で職員のそれぞれのケアの気づきやご本人の思いをご家族、職員と共有し、入居者様お一人おひとりのケアの方向性を検討・実践しながら、その時に応じて本人様の課題解決を目標に介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の入居者様の個別経過記録、バイタル、食事水分摂取量を記入し、職員間で情報の共有をしその情報の中から必要な支援を介護計画作成時に追加し実践に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人様やご家族に意向に添ってかかり付け病院への受診や散髪については、訪問理容支援や馴染みの理容室への同行等支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>入居者様やご家族様が安心して過ごして頂けるよう消防署や関係機関、近隣の方の協力をいただいて防災訓練を実施している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医は本人様、ご家族の希望を大切に決定している。定期的なかかりつけ医への受診支援を行っている。特に急変時においては、ご家族・かかりつけ医との連携を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤で看護職員を配置しており、入居者様の健康管理についても、記録様式を整備し、介護職と連携し受診支援や、日常の健康管理に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院の際は、本人様の日々の状態、現状および経過等を医療機関へ情報を提供し本人が安心して治療が受けられ、早期に回復、退院出来るような支援が出来るように病院関係者と情報を交換や相談をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期、看取りケアのに向けて看取りに関しての指針を作成している。事業所でできる事を具体的にメリット、デメリットを説明して個々の同意を得たい。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員一人ひとりの急変時、事故発生における緊急マニュアルを作成し共有している。AED等の使用訓練等を実際に救急隊員の協力を得て行い緊急発生時の対応に活かせるよう訓練している。内部研修会においても当施設で用意しているAEDの取り扱いの説明等を行なっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を年に2回消防署や近隣住民の協力のもと実施している。防火管理者取得者を各ユニットに1人配置し、災害対応マニュアルをもとに職員間で意識の共有を図っている。また消防設備は保守点検を行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の尊厳を重視して入居者様お一人おひとりに対して誇りやプライバシーを損ねない様な言葉かけに努めている。職員がそれぞれの認知障害を認識した対応や声かけが出来るように努力している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活を送る中でご本人様の様子を観察しながら情報を元に本人が話しやすい環境をつくるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れの中にも、個々の生活ペースを重視し、本人様の意向も大切にならご本人が過ごしたい場所、したいことが出来るように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服の選択や整髪、洗面等の身だしなみについては、自分で行える方に対してはしていただき、声かけなどが必要な方に対しては、一緒に支援し、介助のみでしか行えない方に対しても配慮し、身だしなみを整えて頂けるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と職員とその日の献立のものを食している。個々で好物の違いがあるので、その量については配慮し、楽しく・美味しく食べて頂けるように努めている。介助で食事をされる方に対しても急がず、その方のペースに合わせて介助している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス等については法人内の管理栄養士より助言を貰いながら献立を作成している。水分量、摂取量チェックを毎日記録し、食事形態も個々に合わせて柔軟に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。磨き残しのある方や介助のみで行う方に対してはできる部分(うがい)は行って頂き、できない部分の支援を行っている。全介助の方に対しては、口腔衛生士の指導を貰い介助をしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	昼夜に限らず排泄パターンに応じて支援を行っている。尿意・便意が表出されない方に対してはある程度排泄パターンに応じて排泄介助を支援し、失敗を減らすよう努めている。排泄を訴えることの出来ない方に対しては、その人のサインを見逃さないように職員が気をつけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や水分に関してはお茶、牛乳、ヨーグルト、紅茶など組み合わせて提供している。出来る範囲でラジオ体操、運動等を取り入れ便秘解消に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	職員の勤務ローテーションの関係により曜日、時間帯は固定化しているのが現状である。入浴拒否がある入居者様に対しては、無理強いせずその時の状態で柔軟に対応している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活パターンを考慮し、その方に応じて居室やリビングで休息して頂き、夜間の入眠時は室温、湿度等に配慮し安眠し易い環境をつくりに努めている。夜間不眠を訴えられる方に対しては、一緒に時間を過ごし落ち着かしてから休んでいたが		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理はかかりつけ医の処方指示のもと管理し、必要服用時に職員2人で個々に確実に確認を行っている。症状の変化確認を行い特変がある時には看護職に指示を仰いでいる。処方された薬の種類効能等を職員が確認できるように掲示してい		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の入居者様の出来る生活動作を探し、出来ることを役割と感じて貰えるよう支援している。感謝の言葉や賞賛の声掛けを行う事で意欲や張りを感じて頂けるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設近辺の日中の散歩等、入居者様の状態によって取り入れている。ご家族で外出支援を頂ける時にはお願いをしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在金銭管理は行っていないが、中にはご家族の許可を得て小額のお金を持っていらっしゃる方が居られ、欲しい物を職員に頼まれたり、ご希望がある際には、実際に地域のお店までご支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居者様の希望があればご家族に電話をさせて頂き、ご本人に話をして頂いている。ご家族に宛てた手紙に関しては手紙を書いて頂き、宛名、投函に関しては職員で支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにソファを配置したり、廊下の隅にいつでも座って休ませて頂けるよう設置している。日光の調節はカーテンで行い、室温等も心地良い温度に心掛けている。居室前には名前札を掛けている。共有スペース前には場所の記名をして認識して頂く工夫をしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間であるリビングには食卓テーブルの他にソファを配置し、それぞれお好きな場所で過ごして頂いている。それぞれ自分の定位置が決まっているようでそれぞれ気の合った方と話をされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご家族に説明、相談し協力を得て自宅から家財を持ち込んで頂いたり、ご家族の写真等を飾り本人様が心地良く、安心して過ごして頂ける工夫を行っている。しかし個人差がある。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ハード面に関しては個人の身体機能に応じて出来るだけ安全かつ自立に向けて環境整備を行っている。しかし必ずしも万全ではないが、「できないこと」を支援し「できること」に変え自立に向けての支援を行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない